

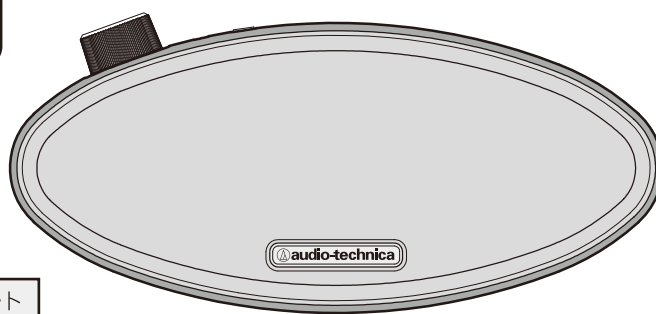
取扱説明書

ハンズフリー拡声器

ATP-SP303

別売：単 3 形乾電池 × 6 本

付属品：ハンズフリーマイクロホン AT810S・装着用ベルト



お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前にこの説明書を必ずお読みください。また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

特長

- ハンズフリーマイクロホン & ベルト装着型の採用により、さまざまなシチュエーションで使用可能
- 45m 先まで声が届く、最大出力 7W の回路設計 ※使用環境によって異なる場合があります。
- 付属の専用ハンズフリーマイクロホンは頭にしっかり留まるバックホールド式
- フレキシブルアームでマイクの位置を自由に調整可能
- ウエスト 55cm ～ 100cm まで対応する装着用ベルト付属
- 電源コードの取り回しが気にならない乾電池駆動
- 電源の ON/OFF も音量の調整も 1 つのつまみで簡単操作

安全上の注意

本製品を安全にご使用いただくための注意事項です。使いかたを誤ると事故が起こることがあります。ご使用前に必ずお読みください。



警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」



注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が損害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」

本体について

警告

- 異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあつたら、すぐに電源を切り、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電や怪我の原因になります。
- 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 布などで覆わない
加熱による火災やけがの原因になります。
- 同梱のポリブクロは幼児の手の届くところや火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

注意

- 本製品を装着した状態で、走ったり、飛んだりして、本製品に衝撃や振動を与えない。また、本製品を付属の装着用ベルトに取り付けた状態で、ベルトを持って振り回さない。
過度な衝撃や振動により、本製品がベルトから外れ、思わぬ事故や怪我の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

電池について

指定電池

単3形アルカリ / マンガン乾電池 × 6本

⚠ 警告

- 幼児の手の届くところに置かない
電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。
窒息の恐れがあります。
- 以下の場所に置かない
 - ・火の近く
 - ・炎天下の車内
 - ・硬貨やカギなど金属製の物と一緒に
故障、不具合の原因になります。
- 分解や改造、ハンダ付けはしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 極性通りに入れる
極性を間違えると、故障の原因になります。
- 外装チューブがはがれた電池は使用しない
故障や火災の原因になります。
- 乾電池は充電しない
感電、故障や火災の原因になります。
- 火の中に投入しない
破裂や事故の原因になります。
- メーカー、種類の違う電池や、新品と使いかけの電池を一緒に使用しない
発熱や、液漏れによる故障の原因になります。
- 液漏れした電池はすぐに取り出す、液は素手でさわらない
 - ・幼児がなめた場合はすぐに水道水等のきれいな水で十分にうがいをし、すぐに医師の診察を受けてください。
 - ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
 - ・皮膚に違和感がある場合はすぐに医師の診察を受けてください。
 - ・目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水等のきれいな水で十分に洗い、直ちに医師の診察を受けてください。
- 液漏れしたらサービスセンターまで問い合わせる
液を拭き取っても基板に液が残って故障の原因になる場合があります。

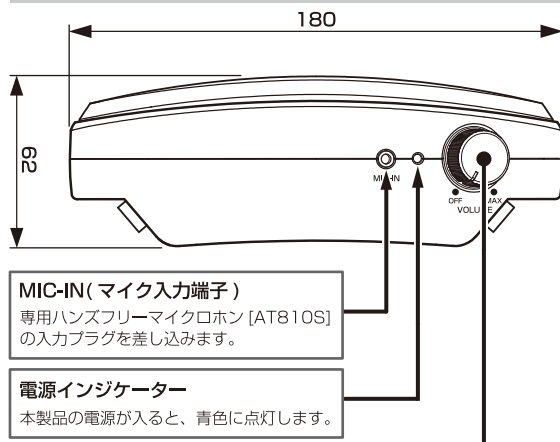
⚠ 注意

- 指定の電池以外使用しない
故障の原因になります。
- 長時間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。
- 使用済みの電池は地方自治体の指定する方法で処分する
環境保全に配慮してください。

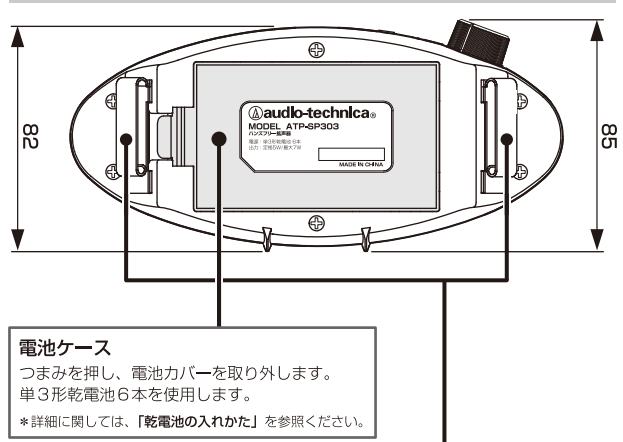
各部の名称と機能

(外形寸法単位：mm)

天面



背面



VOLUME(電源スイッチ兼用 音量ボリューム)

出荷時は電源 OFF 状態(つまみが左側一杯に回してある)になっています。右側に回すと「カチッ」という音と共に、電源が ON 状態になります。そのままつまみを右側に回していくにしたがい、音量が上がっていきます。

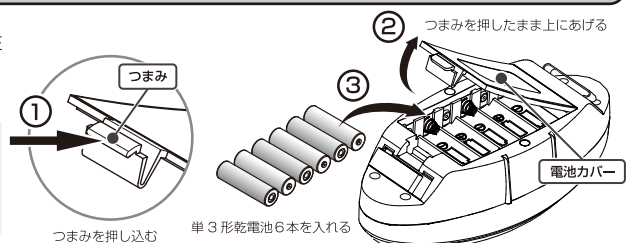
装着用ベルト固定用クリップ(左・右)

付属の装着用ベルトを本製品に固定するためのクリップです。
* 固定方法詳細に関しては、3 ページ「装着用ベルトの取り付けかた」を参照ください。

乾電池の入れかた

1. 右図の番号の順番で、電池カバーを取り外し、本体の極性表示に合わせ、単3形乾電池6本を入れてください。
2. 再び電池カバーを閉じて完了です。

* ご使用中に、音切れ・ノイズ音・音声の歪みなどの症状が発生したり、電源インジケータが消灯した場合は、電池残量がありません。その状態のまま使用し続けると最終的に音声が出なくなりますので、すべて新しい乾電池に交換してください。

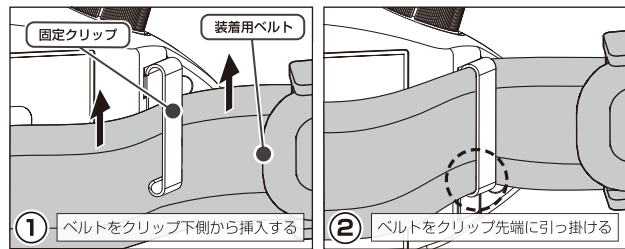


⚠ 電池の極性を正しく入れないと主要部分を破壊する恐れがあります。

装着用ベルトの取り付けかた

右図の番号の順番で、装着用ベルトを固定クリップ（右・左）に奥までしっかりと差し込んでください。
クリップからベルトを外す際は、クリップの先端部に指をかけ、少し広げた状態にしてベルトをクリップから抜いてください。
※指の挟み込み等にご注意ください。

※ 乾電池交換の際は、固定クリップからベルトを外してから電池カバーを開け、乾電池の入れ替えを行なってください。また、ベルトを本体に着けた状態で交換したい場合は、電池カバーに接しているベルトを手前に引き、充分に緩ませた状態で電池カバーを開けて乾電池の入れ替えを行なってください。



使いかた

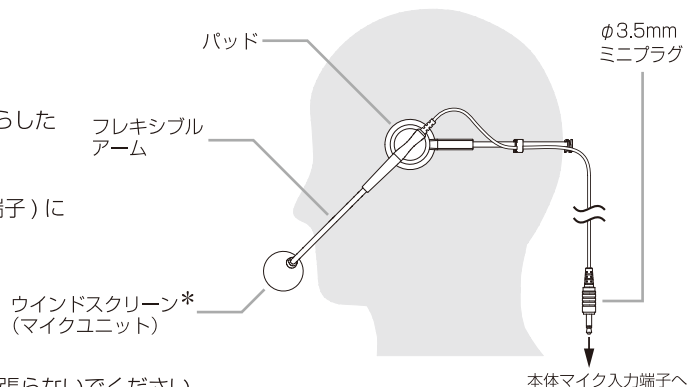
本製品の装着

- ご自身のウエストサイズに合わせて、装着用ベルトの長さを調節します。
※装着用ベルトの対応サイズは、ウエスト 55cm ～ 100cm までとなっております。サイズの合わない方は、ご使用にならないでください。無理に装着しますと、思わぬ事故につながる可能性があります。
※装着用ベルトは伸び縮みのするゴム系の素材でできております。腰周りより少し短めに調整することで、しっかりと固定することができます。
- 腰に回し、装着用ベルトの先端同士をフックで確実に結合させてください。

専用ハンズフリーマイクロホン [AT810S] の接続・装着

- ヘッドバンドを後頭部から耳の上に装着します。
- フレキシブルアームを調整し、マイクユニットを口元から約 2cm 離します。口の中心からややずらした位置にマイクユニットを固定させます。
- プラグを本製品天面の、「MIC-IN」（マイク入力端子）に差し込みます。

※ ウィンドスクリーンは取り外しが可能です。



⚠ 使用上の注意

- コードを持ってマイク本体を振り回したり、引っ張らないでください。
- フレキシブルアームを極端に強く折り曲げたり、マイクユニットを回転させたり、引っ張ると断線や破損の原因になります。

本製品の使いかた

- 本製品の電源が入っていないことをご確認ください。
- 本体に専用ハンズフリーマイクロホン [AT810S] の入力プラグが確実に挿入されているか確認してください。
- 電源スイッチ兼用 音量ボリュームつまみを右側に回し、電源を入れます。
- そのまま、声を出して確認をしながら、ハウリング*・音声の歪みが出ないように出力レベルを調整します。

*ハウリングとは？

音を再生する際、スピーカーから出た音をマイクが拾い、それをまたスピーカーが再生するということを繰り返し、音の増幅が繰り返されて「キーン」という大きな音が発生する現象です。本製品においても使用環境の違いや、マイクとスピーカーの距離が近くなると、発生頻度が上がる場合がありますのでご注意ください。

⚠ 使用上の注意

- 磁気の影響を受けやすい物（ブラウン管テレビ、磁気カード、時計など）を近付けないでください。
- 電子機器の近くで使用しないでください。本製品や電子機器にノイズが入ることがあります。
- マイクケーブルの抜き差しは、必ず電源が切られた状態で行なってください。
- マイク入力端子に、デジタルオーディオプレーヤー等の入力ジャックを接続しないでください。
- マイクロホンは必ず専用ハンズフリーマイクロホン [AT810S] をご使用ください。コンデンサー型マイクはご使用できません。

故障かな？と思ったら

Q. 電源が入らない	A1. 乾電池は入っていますか？ A2. 乾電池の残量はありますか？	▶ 2ページ「乾電池の入れかた」を参照ください。
Q. 音が出ない	A1. 本製品の電源が入っていますか？ A2. 音量ボリュームが最小位置になっていませんか？ A3. マイクロホンのプラグは確実に差し込まれていますか？	▶ 2ページ「各部の名称と機能」、 ▶ 3ページ「使いかた」を参照ください。
Q. ノイズが出る	A1. 本製品の近くに蛍光灯や電気機器などのノイズ発生源はありませんか？ A2. マイクロホンのプラグは確実に差し込まれていますか？	▶ 2ページ「各部の名称と機能」、 ▶ 3ページ「使いかた」を参照ください。
Q. 音が歪む	A1. 乾電池の残量はありますか？ A2. 出力レベルが強すぎませんか？ →音量ボリュームを下げて調節してください。	▶ 2ページ「乾電池の入れかた」を参照ください。 ▶ 3ページ「使いかた」を参照ください。
Q. 音が小さい	A1. 乾電池の残量はありますか？ A2. 出力レベルが小さすぎませんか？ →音量ボリュームを上げて調節してください。	▶ 2ページ「乾電池の入れかた」を参照ください。 ▶ 3ページ「使いかた」を参照ください。

テクニカルデータ

ハンズフリー拡声器 ATP-SP303

電源	: DC9V(単3形乾電池×6本)
電池寿命	: マンガン乾電池使用時 約4時間(JEITA) アルカリ乾電池使用時 約8時間
質量(電池・ベルト除く)	: 約340g
ベルト調整可能サイズ	: ウエスト55cm～100cm
到達距離	: 約45m
周波数特性	: 300～20,000Hz(±10dB)
使用温度範囲	: 0℃～40℃
マイク入力端子	: φ3.5mmモノラルジャック(AT810S専用)

〈アンプ部〉

定格出力	: 5W
最大出力	: 7W
SN比	: 60dB
消費電流(1W出力時)	: 500mA

〈スピーカー部〉

スピーカーユニット	: 6W,4Q フルレンジコーン 口径6.6cm
最大入力	: 10W
定格入力	: 6W
出力音圧レベル	: 86±2dB

ハンズフリーマイクロホン AT810S

型式	: ダイナミック型	質量	: 約25g
指向特性	: ハイパーカーディオイド(単一指向性)	ケーブル径/長	: φ2.8mm/1.2m
周波数特性	: 200～8,000Hz	プラグ	: φ3.5mmモノラル金メッキミニプラグ
感度 (0dB=1V/Pa, 1kHz)	: -54.5dB	付属品	: ウインドスクリーン ※出荷時は取り付けられた状態になっています。
出力インピーダンス	: 600Ω		

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00～17:30)
商品のお問い合わせや故障・修理のご相談は、お買い上げのお店または
当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。

●相談窓口(お問い合わせ) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター(故障・修理) ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

192401130